

進路先企業に対するアンケート結果（報告）

I 調査の趣旨

就職先企業等から見た本学卒業生への客観的な評価を把握し、本学における教育研究活動のさらなる質的向上を図ることを目的として、下記のとおりアンケート調査を実施した。

II 調査方法

調査期間：2022年8月25日～2022年9月30日

調査項目：「本学卒業生の印象」や「本学に求めるもの」を主とする質問

調査企業数：184社

III 回収状況

102社（184社中）

IV アンケート結果

別紙参照のこと

V アンケート結果の検証

- ・「基礎的な知識・技術」、「専門的な知識・技術力」、「論理的思考力」が多くの票を集めており、社会で活躍する本学卒業生の強みになっている。また、「コミュニケーション能力」、「意欲・積極性」、「問題解決能力」の項目についても一定の支持を得ている。（Q1、Q2）
- ・本学卒業生に足りない能力として、「外国語能力」、「コミュニケーション能力」の2項目が多く選択された。次いで「意欲・積極性」、「文章力」、「粘り強さ」の3項目も票を集める結果となった。（Q3、Q4）
- ・「コミュニケーション能力」や「意欲・積極性」は、強みである項目と弱みである項目のそれぞれの設問において票を集めている。（Q1、Q3）
- ・本学でより充実することが求められている項目として「プレゼン能力の育成」や「コミュニケーション能力育成」、「英語教育」などが選択された。ビジネスの現場を意識したより実践的な能力やグローバル市場における語学力の育成が求められており、本学の教育活動においてもこれらの能力育成を強化し、Q3、Q4で示された足りない能力を身に付けていくことが期待されている。（Q5、Q6）
- ・本学卒業生の傾向として「まじめで手堅い」、「勉強熱心で向上心が高い」などが票を集めており良好と言える。当てはまらない項目としては「競争意識が高い」、「リーダーシップがある」などが選択されており、先頭に立って組織を率いていく気概が不足していると思われる。（Q7、Q8）

VI 改善事項

Q10 の設問において、社会人として必要な能力育成の観点において、「学生団体・部活・サークル活動」等の課外活動の経験が重視されていることが判明した。課外活動において様々な経験を積むことは、コミュニケーション能力、企画力や実践力等を高めるのに効果的であり、本学卒業生に足りないと感じられている項目の能力開発手段として有効だと思われる。学生が自主性を発揮し課外活動に取り組んでいけるよう支援を継続していく。